



知っちょコラム



長門市しごとセンター

地方での「ICT利活用推進」

長門市しごとセンターでは、地域の人材育成の一環として「ICTの利活用推進」に取り組んでいます。例えば、学校でも必修化された「プログラミング」を学べるよう、小学生から参加できる無料のコーダードージョー CoderDojo (※注) の開催、市内小学校への教育用ロボットエムボット mBot の貸出や支援員の派遣、講師を招いて実際に ICT を体験する講座などを開催しています。

これまでのイベント申込は、FAXによる受付が中心でしたが、少しずつオンライン申込 (QRコードおよび Google フォーム) に切り替えています。しかし、オンラインの申込をできる人だけが対象ではありません。イベントに興味があるけど申込方法が分からないとの話を聞くこともあり、一緒に操作しながら Google フォームを「使えるようになる」ことにも注力しています。

また、センターにある会議室の予約時に、「実は、オンライン会議に参加するのだけど、接続の方法が

わからない」と相談があれば、スタッフが説明などを行い、パソコンの貸出も行っています。昨年度好評だった Google 講座を、今年度も実施しますので、ぜひご検討ください。

市民のみなさんが、時代の流れである ICT を前向きにとらえ、「できた」「次はこうしたい」とどんどん活用されるよう、尽力したいと思います。

(※注) CoderDojo・・・アイルランドで発祥したプログラミングや Web を学ぶ仕組み。特徴として、参加者が自ら学びを深め最後に共有する。世界中で2万以上の Dojo が運営されている。



大きなモニター付きの部屋の利用が可能です



道の駅センザキッチン

来場者 300 万人を達成！

道の駅センザキッチンの来場者が令和3年9月20日に300万人を達成しました。1年目103万人、2年目89万人、3年目73万人、本年上期38万人のご来場をいただきました。昨年、本年と新型コロナウイルス感染拡大の影響もありましたが、市民のみなさまや関係者のご支援のおかげで、300万人に到達することができました。

今後とも長門市の観光の拠点、交流の場として地域に貢献してまいりますので、市民のみなさまの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



道の駅センザキッチン ☎ 27-0300



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して
糖尿病の予防のために
～ 11月14日は世界糖尿病デー～

長門市の平成29・30年度の特定健康診査において、糖尿病などのリスクを測る数値 (HbA1c) ヘモグロビンエーワンシー が基準値より高い人は53.8%もいました。これは検査の全項目の中で1番高い割合になっています。

糖尿病は、何らかの原因によって血糖値のコントロールを失い、高血糖状態が継続する病気です。高血糖状態が続くことによって、合併症を引き起こすため、早期発見・早期治療、生活習慣の改善が必要です。

食事は、糖尿病の治療や予防の基本になります。

■食事についてのポイント

- ・適正なエネルギー量
- ・栄養バランスが良い
- ・規則的な食習慣

日常生活では食習慣に気をつけましょう。また、特定健康診査は、医療機関が11月30日(火)、集団検診は令和4年1月18日(火)までとなっています。健診を受けて、健康管理や早期発見に役立てましょう。

健康的な食習慣、定期的な
健診を心がけましょう



長門市保健センター ☎ 23-1133

長門の人

11

◀長門のやきとり文化に感銘を受け、今ではやきとりが何よりも楽しみ



▲デジタル推進本部会議において、「行政のデジタル化」と「しごと・くらしのデジタル化」の推進について説明する林調整監

国の地域活性化起業人制度を利用して長門市に出向した林調整監に行政サービスの効率化やデジタル推進についてお話を伺いました。

長門市企画総務部調整監
株式会社日立システムズから出向

林 英二 郎 さん
はやし えいじろう

林調整監 日立システムズでは電力や交通、金融といった社会インフラの営業を担当していました。災害時に公共施設が避難所となった場合に、電力供給を行うための太陽光発電設備や蓄電池の営業で長門市役所を訪問したことがあり、長門市との縁を感じています。

行政への出向は会社としても初めてで、不安もありましたが、先進的な取組ができるのではという期待の方が大きかったです。

長門市では行政のデジタル化の推進を担当しています。窓口に来て書類に記入していた子育てや介護の申請手続きをスマートフォンで簡単に行えるようにしたり、住民票などの取得にかかる手数料の支払いをキャッシュレス化したりするなどの効率化を進めることができたかと考えており、市

民・福祉サービスの向上につなげていきたいです。ほかには、「子育て世代から選ばれるまち」に向けて、保育園での園児の出席確認や園と家庭との連絡をデジタル化し、保護者や職員の負担軽減を図る取組も行っていくことができていると思っています。

また、道の駅センザキッチンや長門湯本温泉などに無料のWi-Fiを設置することで、どのような観光客が来られ、どのような動きをしているのかのデータを分析し、リピーターの獲得に向けた観光事業の活性化に活かしています。

デジタル化はあくまで手段、方法のひとつだと捉えています。SDGsの観点から、持続可能な経済発展や環境・社会づくりに貢献できるような長門市らしさのある事業の企画、施策の立案をしていきたいと考えています。

長門市市民憲章

⑤ 命 ささえあう、

健やかなまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 257 2021年(令和3年)11月号

発行 長門市役所

〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2

TEL 0837-22-2111(代)

編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班

TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

編集後記

夏の暑さも和らぎ、少し肌寒い季節になってきました。広報11月号の編集作業に追われている10月20日現在、プロ野球では私の応援しているチームが6年ぶり8度目となるリーグ優勝を目前に控えています。▼チームを引っ張っているのは21歳の4番と20歳のエース。若い選手が活躍するとチームの士気が高まり、盛り上がります。▼長門市においても、若くして活躍されている人や新たな挑戦について取材する機会が多く、同年代の自分も頑張らないといけないと思うことが多々あります。若い力が切磋琢磨することによって、これからの長門市をさらに盛り上げていきたいですね。

